私財全部を投

八出し社

世の為葬るべしの

而して合同反對者は徹底的運也

する事に昨六日决定した、

重せよ銀行重役、

づけにされ狂へる者もある

休業に對し銀行を盗人呼ば

郡民文明が遲くるる……汗喜んでなるのだ)石城地方

製の株主位は世の爲犧牲に

近來都市には博士大家の進 んで薬局に患者紹介を依頼

勿論これら諸國は戰爭で

城地方財界の大動搖を呼びだらう然し社會の為には少 未だ深い磐城休業に依る石! に努力し以て(株主は泣く

した、他縣他郡の人より

なって來た不景氣の底は最大良策たる平磐銀行合同

爲一△……

即刻

差別なく生活は益々ヒド

春銀行騒ぎから下級上級會の為…… 預金

對者を葬れ

水流して貯へた虎の子が釘 | 財界安定促進の戸びらを開

事務主任行方不明

倉町磐城銀行出張所

平田町○○○氏が本日四倉|させ磐城銀行預金にせよと

某を相手ごう詐疑横領の

機せし如く裝ひ巳がマンマ

發甲編 廣新 行 輯告聞 人刷銀 料代 字佐美友二郎

受行所 磐城の時事 平町田町三六番地

爲 8 寄 磐城矯風會 附

(つゅき)

也

日七月六年三

和

财

界安定

促進

營師 藥局 男の敷が少いといふ結果をり男子に多し然れ共女子の みてゐます

刊新聞社も右合同の爲猛進處方調劑衛生相談專門醫紹中せうがこの原因を他所に け、我社始め平町十二旬月|する著あり又薬局の宣傳に|批了を多く失つてゐるから 介等發表する者尠らず新機しても現在及び將來の世界 各國は女の数の方が多くな る傾向をもつ物の様です。 が更に日本を見るに大正

聞するに前記主任○某が田|千圓を詐疑横領し北海道方|の容態に應じ斃を求め斃の|に拘はらず、同年度の女の 告訴狀を平檢事局に提出拜|と休業になりしを幸ひ其數|は兎に角然らざる者は自分|四十人ほご多く生れてゐる |磐城銀行出張所事務主任||て横取りし〇〇〇氏には入||出るとか咳を伴ふとか種々||九萬九千三百八十五人と男 生ものです |の場合あり、經驗あるもの|の方が女より四萬二千三百 |賣る藥屋の方で撰擇に困る|千百七十七人です |せらるべく只風藥吳れでは||對し男の死亡は六十五萬二 |用ひ方罹病中の注意を得心|死亡六十二萬百四十三人に |りで惡寒頭痛あるもの鼻針||七百二十三人同じく女九十 |御自分が服む薬を使の者に|十三年度現在でみますに |買はせる程不徹底の事はな||内閣統計局調査人口動 例へば風邪にもよりけ|よる)男の出生百四萬一

みに籠絡せられ局より引出

次に死んで生れる者に就

を主任及事務主任し某に巧

倉町郵便局の数千圓の預金たり世人注意せよこの不正

町○○○氏の預けありし四面に逃走し行方不明となり

一 行 五 十 錢 VC

發行日

◆少なく生れて少なく死の男 七十四人でことでも男兒一に直面するのであります。

0

M

多く生れて多く死ぬやうで 就て見るに、女百人に對 が、これを西歐諸國三、四 通例男の見は女の見より

K 就て

築物療法ニオ 理學的療法 布すれば間もなく全治 定價金五十錢以上を塗 藥「天下茶屋毛生藥」 し毛生します、 **髪發育では密接の** ヂアテ

局處療法如き内分泌腺と毛|居るから御尋ね下さい。 者は例外に男子より多し、 内四十一歳より四十五歳の ~減りをりたり、女子よ 甲狀腺、卵巢、睾丸、腦下全良療法の 垂体、松果腺副腎等の 町宇佐美樂舗にて發賣致し ミー、雪狀炭酸レン の藥は藥劑士

【病者救濟花柳病撲滅宣傳の爲】 金萱園八十銭で毎日紹介します

氏に紙面を以て御通知申上候本社ご爾今何等關係無之候問 高 岡 武 一 形态髮症

樂劑

愈

之助

世界的橋矢……可の誇 獨逸シーメンス。 ユニバーサル・ヘリ オドル製

々此光線を利用するもの数千名ありごり装置し其主任に醫學博士擔當せられ居る為日

小霜 通學服大勢賣

用生學小 十一、二歲向……一壹圓三十錢十歲位。向……一壹圓十錢 一三歲向……一亭圓四十錢

取京室町 三共株式會社

話二〇三番

HJ

B

花柳病專門藥

七百七十八人女兒五萬七千人死產~てゐるといふ事實 |て觀ましても男兒六萬七干||萬六十四人といふものが多

不才驅毒錠

本劑ハ醫藥學上最平信効ヲ認メ賞用セラル、驅

此段諸君

【説明書御申込次第郵呈ス】

硬化症、リクマチス、神經痛、ルイレキ 梅毒、痔疾、淋病、疳瘡、(下疳)胎毒動 藥價 一週間分 金一圓三十錢

發賣元 愛 生 磐城國锡泰町上町 二週間分金二、五〇德用分金五圓 局

表发义 明治が大き方元に五月十日よ **於** (下部治療) の完成されたものに外なら指に過ぎない真のホトケは

事で思ふホトケは實に人間

醫師も自己の藝室より出す

公園

無き自動車に

對し直ちに

年近くも代金支拂ず己は 活の資たる藥を買入れ一

今日は平明日は福島と無

天日某所に會員立ち泥除

今度磐城矯風會で、雨

士なり

彼は某藥店より生

四倉町○馬醫士は不紳

忠告なし二回以上發見せ

し時は警察へつき出し相

的とした患者が多かつた又

を服用するを以て主たる目

われらもさとれば佛なり」

「佛も昔は凡夫なり

且つ病んで、

遂に八十歳を

醫師藥室の調劑による藥劑

には無關心で醫師を訪問し

期に死なれたのである。 れざもその肉體は質はホ ケ自身ではない月を指す

なのである。

平清盛から竈越感覺の境に神を考えぬか。劑師の區別のつかないものらう余は針小にても社會の

甚だしきに至りては醫師藥ある何と世智辛

いことであ

車は雨天に何故泥除けつ

磐城地方の多數の自動

が悪く年少のくせに男ぐ

迎:

るいしてをる。

院長注意

が居るさみねる。けぬのか…警察内に〇ら

なさい

を失ふた白拍子の

一個王が、

化の法則に従つて生じ老い

ら科學精神にもごらぬし變

も言え得るのである謂く

るし、

又人間以上の超然的|句とは限らず心眼開

使ひ多額の利をせしめた時

九層倍

ムネリストの立場とも異

ホトケであるかを見ねばならないそして其

存在とする神とも異なるの一打つ波松吹く風にも諸行無代もあつたいらう、

の如きは

(質は他の宗教の」点に真に理解するなればおある。しかし星霜うつりこ

常の法の聲は聞かれるゝ此の評判を受けるのも當然で

である、

特にキリ

後二回に極

を見た事

られたと云ふのが人類の文得たのである猶次のように別をつける樣になつた然し。さなければならないのでと社會淨化のために努力せケとゆふものゝ意味を摑みく賣藥商藥稱商藥劑師の區倍の努力をし九層倍の苦を入滅のその時まで人格完成茲に吾人はやゝ明確にホトす近來に至り一般の人が漸利益は全く夢で返つて九層りに達し、それより八十歲を異にするのである。 者が考へてをつたと見ねまぬ将來に於ては藥九層倍の家し三十五歲にしてこの覺者神の支配權とは全然意味ですが世間では左樣多々のの爲已の爲勤勉せねばなら 前印度の迦毘羅城の太子悉|宙をも人類をも支配するに めて概括的になのであつてホ 意味を人間の完成されたものに外からは賣藥の効がない事や |等しいか知らぬが夫は獨在|された人あり誠に笑止于万||後吾等は晝夜愈行にて社會 の自由境に遊ぶ點がらは字れ余が襲學校に入りし時も ならぬのである、その意志、九層倍儲かる事をよく云は |九層倍儲ける事の非を忠告|が唱へられるかと思へば今 のがあると記憶してをる人 散解熱散リントルと云ふ風|師法が制定以來薬劑師の賣 限藥局國營藥學校の制限等 薬製造が増して來た賣藥商 る問題を限前に控 は仲々気が気でない か薬局制 へて冷や

卫力 △是非一呼出電二三三

日七月六年三和昭

もありました又醫師の診療役に立つ樣勤勉する者なり 是规范国金

ら單に神の福音を傳えたと一般は天地自然の理に從うも々たる構へに大なる看板を ぬのである。この意味で釋月そのものであるだから肉のと信じ治療方法に付研究 のである必ずしも經文の字揚げ丁稚よばはりで店員を 身の指で示された教への月の余暇もなき程多忙且儲か 樂劑を以て最効力顯著のも つた者である又賣藥商も堂 數有志を招待し發會式を催 去る廿七日午後一時より多 した開會の辭高倉精一氏を 初め次で役員選舉の結果 にて撃行せり 盛大に松ヶ岡? 德

> さぞかし盛装人は喜ぶだ 當の處分する事になった

田町に今度開業した〇

聞

生

るぞ

理副會 事長 高山三星藤深高 宇佐美友二 國 谷橋 森 田 小四勝 敏 郎郎 町には外科名譽は多~居 と患者が行か無いぞ、平 ○外科醫者は人に對し階 米醫者のくせ生意氣する 級應答する不人格者だ新

は人間自體。千金丹屋が節面白く賣歩くて來た從て猛烈なる競爭が である然るに近來藥學校が 挨拶を乗て各役員へ懇篤な 柏木哲、 る依頼の言葉あり次に來賓 川〇子と云ふ女は表面内 面は虚榮心强く其為手癖 氣者に見せて居るが、裏 るから注意せよ。 高久病院の看護婦で〇

告

取締つて貰ひたい

(三ッ目

小僧

T

一十第

きものでなく寧ろ因縁の理 るがホトケは決して斯の如

余の幼少の頃名古屋市中を

配着といわれるのであ

切 評 美 |聲は益||宴に移り「ラーブルスピー|

時半磐城矯風會萬歲三唱し

A STATE OF THE PARTY OF THE PAR

万

家

|チ」に出で盛ん和氣靄々時で解散した

平町公園入口

酒

は

朝 脉

町搔搥小路 1-

正言店商

聘に憤激の余り戸障子を壊醫者は何が爲營業收益稅等 野住民に 如く各新聞にも掲載せら一濟病院……のみが往診して一ず昨年末五丁目〇〇〇院沼醫院……十五丁目磐城共不應招聘事件枚擧に遑あ無いが斷られ漸く紺屋町藤 氣……往診……不在…… 般に渡り往診を求めしに |思家から夜中三時頃平町||先生/~と云はれて居るは れし近き例もあり先日も免税になり居るか世間から し通り〇家の人に不應招長れたとの事質ありしと にして屢 頭にて夜中醫師|迄待て……等の口質か判ら Ž. 社に||外出より歸 られよ醫師 何の為か……大いに自重せ り渡 … 質廳…… 必 等の 為 期 せ ょ

電話三五二番

屋を困らせたとか聞く注 銀電 話三二〇

意せぬと醫師界の名が汚

て腎心の利益の強ひ薬卸 駄金費ひ家も新築なごし

(町 \mathbf{H}

廿廿日マド廿廿廿廿廿十四八六チグ六四七四六一 年リラ年年年年年年 町間间 エ中中レレー古古ー 日 軍 軍 馬 基 斯 装 斯

被治者の自覺もさる事な

て執行さるゝ祈禱は尤 禱者が神や佛の名に依つ

隨分素性面

白からぬ祈

配

がら今少し警察が嚴重に

因は皆貴方等の映畫旬報か

で行くのを、それ、其の原

座の雨館の親交がうつらい て次第次第に、平館、有聲

平説明界を見て

眏 界

通

るではありませんか…そし と憂欝な雲がさるやいてゐ

いてもう体みませう

書界を、何處かにひそひそ

らではないでせうか…少く

は、有聲座、平館の雨者を|◆石井 と名を打つて出たるからにくに ……

孝氏

何年經でも、 ◆富岡春朝氏

平和なダリ

座のなんて問題にならない|参南

桃華氏

其他皆それからだ若人よ

畵高田の馬塲」等には有聲からう……

|男性ですか…若しあなた方|氏とならんで、平舘の重鎭東宏郎氏直傳とも思はるゝ 等…あゝ貴男方はそれでも|現代説明界の花形共に石井|最後に私の絶對讃めたい

たあの説明振りには皆感心、人をして心から喜ばし だ落着十分にゆつたりとしが如き高く低く一聲乱れず

平町各書店にあり

6

護

國 Ø

鬼

ţ

美

路

雫●(本日發刊)

女性文藝誌七月號

義旗故に 旗義故

義旗故に

映畫旬 る有聲座ファンでもなけれ 畵 報を編輯しなさる島なければ大な恥です、有聲だが憎し 「旬報を悲し 川照 む 子 せるかの如き皮劣な行動で |館句報としないのです。 輯

ば、又平館への惡論者でも けれざもあまりにも映畵句物語ではありませんか…… ら映畫其物に就いて深く深っです。 愛する一個の女性です。一さい、 松本二方様…私は單な座と云ふ館の存在を忘れるいか、或ひは苦勞でもした一年… 私はたい心か一歩する映畵旬報の内容はで様だ、氏よ日本一の徳川夢」そして益々努力せよ… す、然して其の大道狹しとて少しく活氣が抜けて來た | 書句報として有聲座を書か| 平映畵界最古の説明者だい 少しは恥を知りな聲は老ひて益々盛んなるか のか以前の説明振りに比しるこは い事には、年のせ

報の道に外れた行ひを責め……ああ……もう云ふのは◆小林 御覽なさい…現在の平映五月雨は音もなく窓邊に降等の十分なる理解を持たぬ影法師捕物帖、嗚門秘帖、 今筆を取らせて頂きます」よしませう…… ばさらば、惡論を許して頂●町田英二氏 りそういで居ります。さら 大抵は映畫説明者昔ら、君ももう一度返り花をマキノは有聲座であ **唉かすべきだ……** 完 三浦虎雄氏 | 總て、マキノから送り出さ

とも平町唯一の映畫機欄誌。夜にならべて見たり左の如いだらうか…… |を見れば色々と浮ふ初夏の|十分研究する必要があるま |バノラマの如く平の説明界|も下手だ、君よ少し此處に||我々マキノフアンは幸福で 人 がして氣持がいゝ、難を云難く、唯々喜びの絕頂に居 人だが、一寸生駒雷遊振り へば少し女方の説明がごう る今日まで…あゝ嬉しい… ある、そして未來は忠臣藏 續斑蛇、雪の夜話、問者

|花を咲かせて行くのが當然|が淋しい事には最早此以上|ある。得長は「其頃ほひで| 功みに折込んで磐城の國の|今平町隨一の時代劇説明者|も見ずね。俗に謂ふ萬年說 ャのとして氏は平館主任である|明者として又其處に誇りが 少しの變化を大マキノ廣がる廣がる日 未來永劫に續けや進め… キノ…マキノ・・・ 中へ痛快だツ…痛快だ… と、其れから其れへ週一週

だらうと思ひます、それをの上達はむづかしいだらうある」「大根切りだあツ」|映畵に…瓮粥に…音樂に…だらうと思ひます、それをの上達はむづかしいだらう|ある」「大根切りだあツ」|映畵に…瓮粥に…音樂に… | 全然打破つて、平館のみのだが、未だ未だ此所四五年||何れにせよ有聲座秘蔵の名||我等の有聲座、 あまつさへ「映は一人天下と云つて差支な一説明家で百々之助専門だ、 堂:: マキノの

> 風白へご人踊らず 花咲けご鳥唄はず

だが讃めたからと云つて决●月岡一骨氏 せざるを得ない事だらう。 るのだから大いに振つて欲り帝都に送り出したい人々 君は益々上達する見込があの素養ある人物として平よ して自慢してはいけない、一は隱れたる世界的名説明 る彼の よ、月岡氏の應援を頼む。

映

畫

詩

壇

丰人 映画禮讃 福 映畵の都で H 靜 光

悲しや悲し我胸は

特別興行なれざ滿員御禮と六月八日より

ح

遠く近く磯の邊

◬

寄せては返す夜の潮 耳もどかすかに波打てば

見よ…天下の大時代 平は都である: る。喜べ…祝へ… 濡れにし身をば京の地に やせ衰へし戀の鳥 泉の流れて狂ほひぬ いとし君が名叫びつつ 狂はは心の森に啼

代時劇

黨

卷全

帝キネ特作

連續時代劇

三人男

後編八卷

十行位迄)

全武非龍三主演

代現劇

旋

風

兒

卷全 八

マキノ作猛闘劇

して特に料金普通

何時の間に來たのか知ら四一子、萬花地獄、等數ふれば 淚 盡し難く、ならぶれば書き 春、斑蛇、毒蛇、 の昔より合點勘次、 角兵衛獅 切なる胸の云へもせず み空に輝く星ゆえに なれざも哀れその君は かすめてゆきぬ唯一羽

寄せては返す夜の潮 遠く近く磯の邊に ものに倒れて目醒むれば 京の街々さまよひて ああ悲しやな我が心 何一言葉も給はらず 泪しぬさめざめ

時代劇 大縣 太阳三郎、於太阳三郎、於

路 72 نط

彼の空に王政復古の あゝ苦惱と義旗を負 勤王の義旗ひらめく たまし結城正之助 親を捨て 戀を捨て 家を捨て 來りぬ 失明の運命に叛逆の 展けぬ ああ結城正之助 **久遠の暗に戀の花** 永劫のくらがりとなる 我が今見えしは夢か 筑波の山を求めつ かしはあれ之世の道 光明は 現實の世は

平町紺屋町縣社通

判 味

電話四六〇番

本田三郎、松枝つる子、嵐璃徳、尾上紋十郎、松帝キネ大作四社競映々畵 3 000 最新京染 院派 000 平町田町五 4

磐城矯風會

而

事件優人

氣投票

(第三) 夏 二 二 十 票

歌 ^ ろ 傳 國

(二十一票)

狂ひ泣く映畵ファンの

Z

湯だ

九嵐 栗 市 7 部五郎 **長三郎** **長二郎** 島すみ子 ------川百々之助 川右太衛門 …… 尚 干 惠 藏 キノ智子 何んでも差支ありまって下さい(官製ハガ 映畫に關する事なら俳優人氣投票もドシー Ŧī. 五票 西井米子 …… 一票森 静子…… 票武井龍三…… 票鈴木澄子…… 票岡田時彦…… 票夏川靜江…… 票山本禮三郎 …(十七票) キに 票 振 票

せん、(十二字詰四限る一人一枚) 用紙(官製ハガ ŧ 宛名に總て、平町田町五 宮崎方、平映畫新報社 將城矯風會

施 學城矯風會 不明三丁日十番地 And the same of the second sec

平田町宇佐美薬局)

八平南町平看護婦會

施 不靈術無料 磐城矯風會

磐城劉風自

好間村光景寺

平

目

H

取

t

麵

類

大勉强。

卸小賣

製

各 電

東京福 誰に P 出來る資金いなずの金儲

音 ŋ 定器((プレ 入元 金五圆、 ザー 金七圓

エンディの活動除去クリ 金三十錢以上

嬱 局

5錢 5錢

5錢

ガラス

N

1斤16錢

平町四丁目 電話二-四番

、煉。

る石の

佛蘭西バン 10錢 食パン 1斤16錢

へ 山 へ

ピクニックの

髮結容美



平] (評 祉)

問 菓 和 屋子洋



賣 賣 店店 华 有 銀聲 謟 行 座 七 横前五 五

ZIS

城

院

病屋

電

入院自炊ノ

便ア

剛五丁目

一具道小〉 日丁二可平

I 荷 如 HI 雷 T F H

続けれて

Montana de la companya de la company

一合白瓶一本 二十五錢

(從來通り空瓶交換ヲ致シマス)

中町四丁日平驛通り

永山酒造店出張販賣所

電詩二〇七番

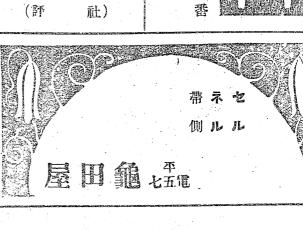
Mſ.

美佐

球券呈上仲田町マルトビリヤード

者に御望により高等遊戯 賣藥命三十錢以上御買上

HI



いまうてく安 話

薬

有聲座入場券進呈金一圓以上御買上に對し

能勃治主

の爲乳止りたる人等

乳汁出の人、乳汁不足、驚き悲しみ

(金貳團)

3

/ 漢工薬/

主災郷が労事す

其日 他立 業諸特 電話一一 械店

番四九六話電

凉 溢

婦人世界賞讃 スター好み 三日間のかた。 では 一マイド呈上 浴衣地陳列に集ふ人氣

季節品階上に陳列してあります 表現ゆかた ざうぞ御誘合の上御來店下さい 投票券呈上一反毎に懸賞